

第11回中海会議【概要】

日時 令和2年8月19日(水) 14:00~16:00
場所 米子ワシントンホテルプラザ らんの間

中海湖岸堤等整備に係る調整会議(説明:国土交通省出雲河川事務所長)

【意見等】

■松江市長

大橋川の改修について、白濁、朝酌は用地買収がほぼ大詰めを迎えているという段階であり、国にはしっかりと予算の確保をお願いしたい。また、中海の湖岸堤整備は、短期整備箇所についてはほぼ見通しが立ったことに感謝する。今後の短中期、中期の箇所については、スケジュールを明確にしながら、地元の意見も十分に聞いたうえで進めていただきたい。

■米子市長

米子市における湖岸堤整備の順調な進捗について、感謝する。かわまちづくり計画については、鳥取県、出雲河川事務所とともに進めてまいりたい。引き続き、予算の確保、進捗について御協力いただきたい。

■島根県知事

島根県側の湖岸堤整備等について、順調に進めていただき感謝する。用地買収が佳境を迎えているので、引き続き御協力をお願いしたい。

7月に江の川で再び浸水被害が生じた。今年であれば熊本や山形など、他県でも大きな被害が出ているので、全体としての予算の枠を増やす意味で、国土強靱化、防災減災のための3か年緊急対策の延長が必要である。また、使途、対象事業の拡大を含め、当初予算ベースの特別枠でないところで拡大をしていただきたい。都道府県、各市長会等々も予算確保のために取り組んでいく必要があるので、皆様方の御協力をお願いしたい。

■鳥取県知事

最近の豪雨災害は尋常ならないものがある。この度の江の川の災害は、西日本豪雨(平成30年7月豪雨)のときなど繰り返されているものであり、最近の状況からすると、大橋川も含め、中国地方、特に山陰地方での予算確保は必要であるので、両県でも結束して取り組んでいきたい。また、小平局長はじめ皆様の御理解をいただきたい。

(大橋川拡幅)朝酌、白濁の用地買収の話などもあり、事業の進捗を図っていただくことも大切であるし、(中海・錦海)かわまちづくり等もある。ただし、大変な議論の末、この大橋川拡幅に先立ち、下流域の堤防(中海湖岸堤)の整備をするという条件になっていることを、再度御理解いただければと思う。

■出雲河川事務所長

短中期箇所について、今後も優先順位等を検討の上、関係自治体等と調整を図りながら、短期整備箇所に引き続き、切れ目なく進めてまいりたい。

■中国地方整備局長

大橋川改修と湖岸堤整備に関しては、整備手順は整理ができていますので、関係者の御理解と事業費の確保ができれば、どんどん進められる状況になっていると考えています。

我々としても整備を推進するため、危機感を持って予算確保できるよう、きちんとしたシナリオづくりをしていくので、ぜひ皆様のご支援をいただきたい。

■鳥取県知事

小平局長のほうでしっかり事業進捗を図ってもらおうよう、中海会議の総意として申し上げます。

中海の水質及び流動会議（説明：鳥取県水環境保全課長）

【意見等】

■中国四国地方環境事務所長

昨年から着実に進展をしていることについて、関係者皆様の御尽力に敬意を表す。気候変動による湖沼の水質への影響について昨年度まで実施していた調査研究の結果を紹介する。

昨年の中海会議の後に出されたIPCC特別報告書によると、海面の上昇の影響が従来考えられていたより大きいことが判明したため、我々の実施していた調査の予測精度が下がり、信頼性のある定量的なデータ（COD、窒素、リン等の具体的数値）が出せなかった。定性的には21世紀末にかけて気候変動の影響で水温は上昇し、海水の流入によって躍層が進み、底層の水質が悪化することは間違いない。

調査研究は昨年度で終了したが、今後も別の形で継続していきたい。必要に応じこの場で報告する。

■安来市長

米子湾は昭和30年代後半からの高度成長、開発行為などにより水質の悪化が進行、地形的に一番くぼみになっているため、斐伊川水系からのものが長い間蓄積されてきていると思う。

昨年も発言したが、米子湾の水質が悪いということは、河川からの流入が汚染の源であるのか、あるいは過去から堆積したものが大きく影響しているのかも研究してほしい。

■米子市長

米子湾は地形的に海流や対流を起こしにくいので、浅場造成と覆砂の効果があるということであれば、調査も行いながら、そのような手段を拡大してやってもらいたい。

■鳥取県知事

歴史的な経緯もあり、流入負荷や地形的な問題、干拓により深く掘削をした地域のこともある。このようなどころについても長年この中海会議で話し合われてきた。

様々な課題について、モニタリングや調査分析を進めて対策を提案していくことが必要だというのが大方の意見ではなかったか。

■鳥取県水環境保全課長

汽水域であるため、気候変動で潮位が上がれば、海水の遡上が増え、塩分躍層がより強固になって酸欠が進行することも考えられる。そのあたりを見据え、流入対策と湖内対策とをセットで進めることを部会の皆さんと協議して進めていきたい。

■鳥取県知事

これからも継続して調査・対策を重ねていきたいし、中国四国地方環境事務所からのデータとも組み合わせながら進めていくこととしたい。

中海の水産資源の現状について（説明：鳥取県令和新時代創造本部長）

【意見等】

■安来市長

サルボウガイは最盛期1,600トン、ウナギは今の数百倍で江戸時代の中期から大阪の食卓をにぎわせていた。昔のように戻れというつもりはないが、これだけ豊穡の海だったということを皆様に知っていただきたい。

■松江市長

水質については一定の向上が見られている。水質と同時に水産資源の回復も図っていくことが大事だと

思う。水産資源と水質との関係がはっきりしていないのではないか。水質を良くすれば水産資源も同時に向上していくものなのか、その調査分析が必要ではないか。そのためのセクション（水産振興部会）を立ち上げ、水産振興について議論する場を設けてほしい。

■島根県知事

水産振興という観点では、資源量の問題と、業として魅力を感じる人がいるかどうか。高齢化が進むということは新規参入が少ないということ。つまり水産資源が魅力的な収入となっていないということが考えられる。ワイズユースの一環として水産資源をどう消費してもらうかとセットの議論だと思う。

■米子市長

水産資源については、地元でちゃんと消費する循環をつくり、きちっと漁業所得が上がるころまで考えないと、正確に分析し切れない。そういった目標を持ちながら、部会の組成を考えていければと思う。

■境港市長

昔はアマモ等の藻場があったため、水産資源も多く漁獲できていたと思う。浅場造成も順調に進んでいるそうだが、それは、順調にアマモも生育して、藻場ができていくのか。

中海七珍も料理が揃えられなくなってきている、水産資源は皆さんできちんと増えるような研究もしないといけない。

■安来市長

我々の子供の頃は、ほとんど地場の中海産の魚介類を食べていたが、現在は外国のサーモンや県外物ばかり食べている。水産資源については、地場ものの需要がどれくらいあるか考えてやらないと難しいと思う。

■出雲河川事務所長

浅場造成後の藻の定着度合いまでは整理し切れていないので、場を改めて説明させていただきたい。

■鳥取県知事

魚の隠れ場、成長の場としての藻場は今後の水産環境としては重要かもしれない。

水産振興は、できれば生業になるか、少なくともワイズユースとして一つの名物になるぐらいのことができるかということではないか。

皆様の話で共通しているのは、水産資源について例えば水質と絡めて、または水産業の定着に絡む環境づくりも含めたところ、まさに中海会議で調整すべき事柄。

松浦市長から提案があり、賛同の声も上がった水産振興部会について両県事務局で協議をさせていただきたい。現在、両県水産部局の協議会で水産の問題について話し合うということになっているので、これをベースとして中海会議にも報告し、共同で考えるというような仕組みを両県の間で話し合いを行い、設置の在り方を次回諮らせていただきたい。

中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ（説明：米子市経済部農林水産振興局長）

【意見等】

特になし。

中海の利活用に関するワーキンググループ（説明：島根県政策企画局長）

【意見等】

■米子市長

よなごベイ・ウォーターフロント検討会を立ち上げていただいた。大きなインパクトを持つ事業だと思

うので、御協力をお願いしたい。

弓ヶ浜のサイクリングコースが完成以降、地元の方が親しんでいるし、観光が難しいこの時期にあっても県外から関心をもっていていただいている。中海側におけるサイクリングの聖地化事業も思った以上の効果をもたらすと思う。関連するワイズユースの計画もサイクリングコースが1つになることによって一層進捗が図れると思うので、重点課題を進めていただきたい。

■境港市長

海洋汚染、特にマイクロプラスチックの問題等々がある。身近に目にする問題でもあるので、環境教育に、ごみの視点も入れたらどうかと思う。

■島根県政策企画局長

サイクリングについては、山陰観光の弱点である交通手段を自ら持って来てもらえる。交通手段の確保という意味でコースができたということは大きなアピール。観光分野とよく話をして進めていければと考えている。

環境教育は各小・中学校、各市で取り組んでいただければと思う。ゴミの問題を含め、中海を題材とした素材が幾つかできるように検討していきたい。

■鳥取県知事

中海・宍道湖一斉清掃など中海会議と関連づけながらプラスチックごみ等も取り扱ってきた。未来に向けて希望の持てるテーマもたくさん出てきたので、これから数値目標もつくり、皆様と協議しながら考えていくことになる。御協力をお願いしたい。

今日も様々な御指摘があった。河川、水の安全が非常にクローズアップされる時代に入ってきた。いろいろと指摘をし合いながら前へ進めていくことが重要。水質問題、水産振興も新しい枠組みをつくろうという話、豊潤の海と密着した農業振興、それからサイクリングをはじめとしたワイズユース。ちょうどラムサール条約15周年の今年、有意義な議論ができたと思う。本当に本日はありがとうございました。